

2018/6/1

神代植物公園

## 植物多様性センターの「ザクロの花」

かつてザクロ科今はミゾハギ科に分類されるザクロ。梅雨の間が鮮紅色の花の見頃です。原産は西南アジアで平安時代に日本へ来たとか。蕾は可愛い瓢箪型。先端が裂開してシワのある6枚の花弁が現れます。周りを覆うのは肉質で光沢がある筒状の萼で、先端が6(時に4や5)裂して咲きます。自家結実性で、開花が梅雨の最中なので結実もよくありません。雄蕊が多数で雌蕊は真ん中に埋もれています。鳥媒花とも言われます。果実は花托の発達したもので、熟すと硬い外皮が不規則に裂け赤く透明な多汁性の果肉の粒が無数に現れます。可食部は皮と種子を除いた種衣の部分です。



瓢箪型の可愛い姿の蕾  
周りの萼は厚く光沢がある



先端が裂けてくると  
まるでタコウィンナー



雄蕊がぎっしりと詰まり  
シワだらけの6枚の花弁



ヤエザクロは園芸種  
実をつけずハナザクロとも